

【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書の訂正届出書

【提出先】 関東財務局長殿

【提出日】 2026年7月22日提出

【発行者名】 朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 鶴岡 尚

【本店の所在の場所】 東京都杉並区和泉一丁目2番19号

【事務連絡者氏名】 出仙 学恭

【電話番号】 03-3323-6201

【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】 ハリス グローバル バリュース株ファンド（年4回決算型）

【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券の金額】 1兆円を上限とします。

【縦覧に供する場所】 該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2026年6月15日に提出いたしました有価証券届出書（以下「原届出書」）につきまして、作成者が「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況 1 財務諸表」のうち「（3）注記表」を別のファンドと取り違えて作成し、その後の確認者の確認も不十分であったため、誤記載のまま原届出書の提出に至りました。つきましては、これを訂正するために、本訂正届出書を提出するものです。

なお本件は、財務諸表のうち「（3）注記表」のみが誤っており、「（1）貸借対照表」、「（2）損益及び剰余金計算書」、「（4）附属明細表」につきましては正しい内容を記載しております。

今後は提出前の確認に万全を期す所存でございます。

2【訂正の内容】

<訂正前>および<訂正後>に記載している下線部__は訂正部分を示しています。

第二部【ファンド情報】

第3【ファンドの経理状況】

1【財務諸表】

（3）【注記表】

<訂正前>

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1.有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、基準価額により評価しております。
2.収益及び費用の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3.その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	当ファンドの計算期間は原則として、毎年3月17日から翌年3月16日までとなっております。ただし、各計算期間終了日に該当する日（以下「該当日」といいます。）が休業日のとき、各計算期間終了日は、該当日以降の営業日である日のうち、該当日に最も近い日とし、その翌日より次の計算期間が始まるものいたしますので、当計算期間は2025年 3月18日から2026年 3月16日までとなっております。

（貸借対照表に関する注記）

第25期 (2025年 3月17日現在)		第26期 (2026年 3月16日現在)	
1. 信託財産に係る期首元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額		1. 信託財産に係る期首元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額	
期首元本額	46,011,937,526円	期首元本額	48,192,496,417円
期中追加設定元本額	9,538,060,175円	期中追加設定元本額	5,552,743,516円
期中一部解約元本額	7,357,501,284円	期中一部解約元本額	7,054,747,433円
2. 計算期間の末日における受益権の総数	48,192,496,417口	2. 計算期間の末日における受益権の総数	46,690,492,500口
1単位（1万口）当たりの純資産額	17,202円	1単位（1万口）当たりの純資産額	18,461円
（1口当たりの純資産額）	(1.7202円)	（1口当たりの純資産額）	(1.8461円)

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

項目	第25期	第26期
	自 2024年 3月19日 至 2025年 3月17日	自 2025年 3月18日 至 2026年 3月16日

1. 信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用	当ファンドが投資する親投資信託受益証券の純資産総額に対して以下の率を乗じて得た金額 年1万分の60	同左
2. 分配金の計算過程	費用控除後の配当等収益額 1,245,621,792円 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 3,206,321,503円 収益調整金額 23,030,894,822円 分配準備積立金額 10,421,884,254円 当ファンドの分配対象収益額 37,904,722,371円 当ファンドの期末残存口数 48,192,496,417口 1万口当たり収益分配対象額 7,865円 1万口当たり分配金額 500円 収益分配金金額 2,409,624,820円	費用控除後の配当等収益額 1,374,333,257円 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 9,603,634,521円 収益調整金額 23,640,035,855円 分配準備積立金額 10,790,473,812円 当ファンドの分配対象収益額 45,408,477,445円 当ファンドの期末残存口数 46,690,492,500口 1万口当たり収益分配対象額 9,725円 1万口当たり分配金額 1,200円 収益分配金金額 5,602,859,100円

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

項目	期別	第25期 自 2024年 3月19日 至 2025年 3月17日	第26期 自 2025年 3月18日 至 2026年 3月16日
1. 金融商品に対する取組方針		当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資して運用することを目的としております。	同左
2. 金融商品の内容およびその金融商品に係るリスク		当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権および金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券の詳細は「（有価証券に関する注記）」に記載しております。 これらは、株価変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、カントリーリスク、流動性リスクに晒されております。 目論見書の記述に合わせて、主要なリスク項目を記載しております。	同左

3.金融商品に係るリスク管理体制	委託会社においては、パフォーマンスおよびリスクの状況（市場リスク、信用リスク、流動性リスク等）は社内で一元的に管理しています。パフォーマンス評価およびリスク管理を行う上での分析の基礎となるデータは各種のリスクモデル等によりデータベース化しています。当ファンドのリスク分析とパフォーマンスの要因分析の結果は、運用責任者、経営陣を主要参加メンバーとするパフォーマンスレビュー委員会において報告され、運用計画と運用成果との整合性を検証することにより、当ファンドの品質の維持管理に努めています。 また、コンプライアンス部門において、信託約款や運用計画書の遵守状況ならびに執行・組入れに係る管理状況を審査し、必要に応じて速やかに関連部門へ注意・勧告を行っております。	同左
4.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

金融商品の時価等に関する事項

第25期 (2025年 3月17日現在)	第26期 (2026年 3月16日現在)
1.貸借対照表計上額、時価およびその差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2.時価の算定方法 (1)親投資信託受益証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。 (2)コール・ローン等の金銭債権および金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1.貸借対照表計上額、時価およびその差額 同左 2.時価の算定方法 (1)親投資信託受益証券 同左 (2)コール・ローン等の金銭債権および金銭債務 同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

第25期(自 2024年 3月19日 至 2025年 3月17日)

(単位：円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	6,192,144,449
合計	6,192,144,449

第26期(自 2025年 3月18日 至 2026年 3月16日)

(単位：円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	11,982,549,126
合計	11,982,549,126

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

第25期 自 2024年 3月19日 至 2025年 3月17日	第26期 自 2025年 3月18日 至 2026年 3月16日
該当事項はありません。	同左

<訂正後>

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、基準価額により評価しております。
2. 収益及び費用の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。

（貸借対照表に関する注記）

前期 (2025年 9月16日現在)		当期 (2026年 3月16日現在)	
1. 信託財産に係る期首元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額		1. 信託財産に係る期首元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額	
期首元本額	1,507,811,366円	期首元本額	1,811,633,409円
期中追加設定元本額	360,708,785円	期中追加設定元本額	590,740,020円
期中一部解約元本額	56,886,742円	期中一部解約元本額	103,770,798円
2. 特定期間の末日における受益権の総数	1,811,633,409口	2. 特定期間の末日における受益権の総数	2,298,602,631口
3. 1単位（1万口）当たりの純資産額	10,788円	3. 1単位（1万口）当たりの純資産額	11,083円
（1口当たりの純資産額）	(1.0788円)	（1口当たりの純資産額）	(1.1083円)

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

項目	前期 自 2025年 3月18日 至 2025年 9月16日	当期 自 2025年 9月17日 至 2026年 3月16日
1. 信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用	当ファンドが投資する親投資信託受益証券の純資産総額に対して以下の率を乗じて得た金額 年1万分の60	同左
2. 分配金の計算過程	第38期 自 2025年 3月18日 至 2025年 6月16日 費用控除後の配当等収益額 8,136,954円 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 ー円 収益調整金額 118,710,257円 分配準備積立金額 76,979,151円 当ファンドの分配対象収益額 203,826,362円 当ファンドの期末残存口数 1,573,979,296口 1万口当たり収益分配対象額 1,294円 1万口当たり分配金額 300円 収益分配金金額 47,219,378円 第39期 自 2025年 6月17日 至 2025年 9月16日 費用控除後の配当等収益額 4,775,256円	第40期 自 2025年 9月17日 至 2025年12月16日 費用控除後の配当等収益額 7,755,840円 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額 214,249,321円 収益調整金額 167,678,815円 分配準備積立金額 57,021,020円 当ファンドの分配対象収益額 446,704,996円 当ファンドの期末残存口数 2,014,416,172口 1万口当たり収益分配対象額 2,217円 1万口当たり分配金額 300円 収益分配金金額 60,432,485円 第41期 自 2025年12月17日 至 2026年 3月16日 費用控除後の配当等収益額 ー円

費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	70,702,856円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円
収益調整金額	143,399,663円	収益調整金額	228,504,990円
分配準備積立金額	37,165,731円	分配準備積立金額	212,798,260円
当ファンドの分配対象収益額	256,043,506円	当ファンドの分配対象収益額	441,303,250円
当ファンドの期末残存口数	1,811,633,409口	当ファンドの期末残存口数	2,298,602,631口
1万口当たり収益分配対象額	1,413円	1万口当たり収益分配対象額	1,919円
1万口当たり分配金額	300円	1万口当たり分配金額	300円
収益分配金金額	54,349,002円	収益分配金金額	68,958,078円

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

項目	期別	前期	当期
		自 2025年 3月18日 至 2025年 9月16日	自 2025年 9月17日 至 2026年 3月16日
1.金融商品に対する取組方針		当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資して運用することを目的としております。	同左
2.金融商品の内容およびその金融商品に係るリスク		当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権および金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券の詳細は「（有価証券に関する注記）」に記載しております。 これらは、株価変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、カントリーリスク、流動性リスクに晒されております。 目論見書の記述に合わせて、主要なリスク項目を記載しております。	同左

3.金融商品に係るリスク管理体制	委託会社においては、パフォーマンスおよびリスクの状況（市場リスク、信用リスク、流動性リスク等）は社内で一元的に管理しています。パフォーマンス評価およびリスク管理を行う上での分析の基礎となるデータは各種のリスクモデル等によりデータベース化しています。当ファンドのリスク分析とパフォーマンスの要因分析の結果は、運用責任者、経営陣を主要参加メンバーとするパフォーマンスレビュー委員会において報告され、運用計画と運用成果との整合性を検証することにより、当ファンドの品質の維持管理に努めています。 また、コンプライアンス部門において、信託約款や運用計画書の遵守状況ならびに執行・組入れに係る管理状況を審査し、必要に応じて速やかに関連部門へ注意・勧告を行っております。	同左
4.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

金融商品の時価等に関する事項

前期 (2025年 9月16日現在)	当期 (2026年 3月16日現在)
1.貸借対照表計上額、時価およびその差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2.時価の算定方法 (1) 親投資信託受益証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」に記載しております。 (2) コール・ローン等の金銭債権および金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1.貸借対照表計上額、時価およびその差額 同左 2.時価の算定方法 (1) 親投資信託受益証券 同左 (2) コール・ローン等の金銭債権および金銭債務 同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

前期(自 2025年 3月18日 至 2025年 9月16日)

(単位:円)

種類	最終計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	111,758,690
合計	111,758,690

当期(自 2025年 9月17日 至 2026年 3月16日)

(単位：円)

種類	最終計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	56,892,724
合計	56,892,724

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

前期 自 2025年 3月18日 至 2025年 9月16日	当期 自 2025年 9月17日 至 2026年 3月16日
該当事項はありません。	同左